

平成 24 年度の体系別主な事業

1 暮らしの安心・安全を守るまちづくり

★下木屋排水機場ポンプ増設事業 (9,400 万円)



◀下木屋排水機場

小野田駅前周辺を含む沖中川流域の内水被害対策として、現在常設ポンプ2基での稼働となっている下木屋排水機場の可搬式用のポンプ槽に、常設ポンプ1基を増設します。

☆山陽消防庁舎建設事業 (4 億 5,713 万円)

現山陽消防署は老朽化が著しく、耐震性を十分に有していないため、新庁舎建設により、市全体の防災力の向上に努めます。

★前立腺がん検診事業 (285 万円)

近年罹患率が増加している前立腺がんは、今後最も増加するがんと言われています。その一方で、早期に発見されれば完全治癒の可能性が高いため、一定年齢の男性を対象に検診を行います。

★新病院建設出資事業 (1 億 700 万円)

地域医療確保のための新病院建設にあたり、合併特例債を活用してその建設費の一部を出資します。



▲新病院の完成予想図

2 市民が主役のまちづくり

★市税等のコンビニ納付導入事業 (556 万 3 千円)



◀収納窓口のよつす (市役所税務課)

納付機会を拡大し、納付者の利便性を向上させるため、平成 25 年度から市税等をコンビニエンスストアで納付できるよう、システム等の整備を実施します。

☆山陽地区公共施設再編事業 (1,500 万円)

山陽地区の老朽化した公共施設について、施設の統廃合や新施設の建設等を含めて検討した基本構想に基づき、公共施設の基本設計を行います。

3 うるおいのある快適なまちづくり

★転入促進事業 (115 万円)

転入により住宅を取得した人に対して固定資産税相当額の奨励金を交付することにより定住人口の確保、市の活性化と住民福祉の向上を図ります。

☆新ごみ処理施設整備事業 (10 億 5,994 万 3 千円)

処理能力日量 90 トンの新ごみ処理施設を合併特例債を活用して、平成 24 ~ 26 年度の 3 か年で整備します。この施設は焼却灰をセメント原料化するほか熱回収 10%以上とするなど循環型社会形成推進にも取り組むこととしています。



◀現在のゴミ処理施設 (環境衛生センター)